

指導部通信

丸岡南中HP <http://www.maruokaminami-j.ed.jp/>

平成30年12月11日(火) No12
丸岡南中学校生徒指導部 森山

いじめに気づいたら

まもなく冬休み。2学期は楽しく過ごせましたか。学校が楽しいのは、一緒にいて話してくれる友だちがいるからでしょう。学校が楽しくないのは、友だちともめたりケンカしたからではありませんか。「友だち」はみなさんにとって、学校生活を左右するとても大切な存在だと思います。友だちともめたりケンカしたときに、お互いにダメだったところを話し合っ解決できれば、お互いの成長につながってとても良いことだと思うのですが、友だちに「いじめられたら」どうすればいいのでしょうか？

平成29年度のいじめの状況についての全国調査によると、全国では41万件（1000人あたり30.9人）、福井では1247件（1000人あたり14人）でした。100人中1.4人ですから、400人いる学校では5人くらいの生徒が被害に遭っている計算になります。それでは、いじめとはどんな行為を言うのでしょうか？平成25年にいじめ防止対策推進法が決まり、いじめの定義が以下のように変わりました。

一定の関係にある児童生徒が行う心理的または、物理的な影響を与える行為で、対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。

具体的に言うと、誰かに何かを言われて（されて）、1回でも嫌な気持ちになったら、それはいじめを受けたことになるのです。いじめを受けた児童生徒の気持ちを優先し、いじめ被害者の救済を迅速に行うためです。いじめを受けた人を放っておかず、助けてあげるためだと思ってください。

いじめの定義を正確に知ると、「誰かに悪口を言ってしまった」とか「そんなつもりはなかった」ことでもいじめに当たります。全国でいじめ調査をしたところ、『仲間はずれ、無視、悪口』を「された」経験がある人は9割、「した」経験がある人も9割でした。実は、全国のほとんどの人が「されたことがあり、したことがある」というのがいじめなのです。いじめは「どこにでも起こりうる」ことだと思ってください。

「すぐに謝ったら許してくれたよ」とか「嫌だったけど我慢したよ」って人もいるとは思いますが、いじめを受けた人のつらく苦しかった思いを誰かがわかってくれて、それ以上つらく苦しい思いをしないように、大人が間に入って解決していくことが、今の社会に求められていることです。

それでは、いじめを解決するには、どんなことが大切なのでしょうか？

①いじめを受けたことを大人に言って欲しい。

いじめを発見した大人は、必ず解決しようとしてくれます。学校では、校長先生・教頭先生や生徒指導・教育相談の先生を中心としたチームで話し合っ解決方法を考えます。カウンセラーの先生に力を借りることもあります。家では保護者の方が必ず解決しようとして動いてくれるはずですが、いじめを受けたみなさんが黙っていたり、誰にも相談しなかったらいじめはわからず、解決できません。毎日の生活日誌に書いたり、毎月のいじめアンケートに書いたりして、すばやく大人に教えてくださいね。



②何をすると（言うと）いじめになるのか知って欲しい。

はじめに言ったとおり、相手が「嫌だなー。」と感じる行為は「いじめ」になるのです。もちろん1対1でもいじめです。これを言われたら相手は嫌だろうなということを言わない。ネット上のトラブルもだいたい、その言葉を受けた人がどう思うのか考えずにメッセージを送ってしまっ起きています。中学を卒業するとほとんどの人がスマホを持ち、ネットにつながって生活していきます。ですから、生きて行くにはネットの「ルール」と上手につきあっていくことが必要になります。千年も前から言われていることわざに、「When in Rome, do as the Romans do」というものがあります。その世界で通用しているルールに従うこと。もはや、自分勝手な考えで誰かに悪口を言ったり、いじめをしたりすることは時代遅れです。今の世の中では、いじめはルール違反であることを知ってください。

③周りで見ている人が、いじめに気づいたら言ってあげること。

いじめは、必ず誰かが見ています。加害者と被害者だけの問題ではなく、観衆や傍観者、仲裁者が存在します。観衆ははやしたて、傍観者は黙認し、仲裁者だけがいじめから被害者を救っあげられるのです。クラスの5割の生徒が仲裁者になれば、いじめは絶対に起きません。あなたが、ただ一言「やめなよ。」と言うだけです。そして、誰か大人に伝えてくれれば良いのです。

まもなく冬休み。今までの自分の行動や言葉を振り返ってみませんか。学校は自分の「居場所」があっ、友だちと「絆」ができれば、最高に楽しいところです。